

起業者の注目 すべき四要件

男爵 滝澤榮一君談

宅地價修正上の二要點

一國の財産を獨りで、占有するに至つても、猶ほ
飽かぬといふのが人情であるが、併し誤つて斯ん
ど非望を抱いて或る事業を始めたにした所が、其
はぬ事業は到底成功するものない。

事業は起すに先づて充分用意する所さへあれば必ず失敗するものである。其往々にして失敗するの
は事業として成立さするに、其要件を缺くからである。予の見る所では事業を起すに缺くべからざ
る要件が四つばかりあるやうに思ふ。而して此四
要件だけに備へてかゝれば何か特別な事情があつて
邪魔せざる限り決して失敗するものである。

△第一要件 充分成立の望み

ありや否や

之れを研究するには數字が何よりの好材料である
いくら好さそうでも確實ある數字があつて、支收
を明かにしあければ、無暗に其事業を思ひ立つべきである。「だらう」即ち「儲かるだらう」とか、「良
いたらう」とかは苟くも數字を材料とした豫算に使へるものである。之を古今に卓越したる政治家の
國家を料理する態度にて徴するも、常に確實ある
數字を基礎として居るので解かる。

△第二要件 公私の利益あるや否や

今日我が事業界を觀るに、總て利己本位の下に成
り立つて居る、私の利益とさへあれば、國家社會
の利益などは、毫も顧みるの要があると謂つた様
な風である。洵に嘆すべき次第であるが、併し又
已れの利益を犠牲にしてまでも公共の利益ある事
業に注目せよといふのは、甚だ極端な話で斯んむ
ことは到底望まるべきでない。要是は已れの利益と
一致して公益の伴ふ事業されば、必ず成功するこ
とが過ぎない。人間の慾は限りのないもので、
の國家を料理する態度にて徴するも、常に確實ある
數字を基礎として居るので解かる。

如何に事業の性質は良くとも時機に於て其宜しさ
を得なければ、矢張り失敗を免れぬ。事業を起す
には此時機ある問題について最も適當ある解釋を
與へあればならぬ。此時機ある問題については
其當時ばかりではなく、將來少くも近き將來の
變遷如何をも考へなくてはならぬ。如何に良さそ
うでも、將來見込があれば如何にもあらぬ、之
に反して其當時は多少事業を起すに不便な時機で
あつても將來に望みがあれば進んで起すべしであ
る。去る三十九年頃世間一般に好景氣あるに乘じ
て無暗に事業が起つた、ところが後間もよくして
不景氣襲来し、多くの事業は消ゆるが如くに潰れ
てしまつた、之は今に至つて事業の良き教訓となる
つて居る。

△第三要件 時機宜しきや否や

最後に關係の人物を吟味するのが又主要ある問題
である、餘り精神的でも行けず、又餘りに物質的
でも行けずといふのが事業を共にする人物選擇の
標準である。物質的の人物は一時は事を成功する
に適して居るが永く續かぬ。又純然たる精神的の
人物は始めから駄目である。併し程よい人物はある
か／＼容易に見つかる者でないから、先づ誠實とい
ふ点に於て缺くる所があれば、それで宜しい
として置く。勿論誠實といつても夫れには相當の
常識が伴つて居あればあらぬ。常識のよい人間

はどんな人物でも到底役に立つものである。又豪
傑肌の人物も今日では餘り頼母しく思はれぬ。
賃貸價格の等級 宅地價の賃貸價格は從來全
國を一貫したる等級を定めて各地の狀況により之
に適應したものにあらざるを以て現在の各地賃
貸價格は各縣は勿論各郡各市町村に至る所其取扱
を異にし或は其の等級を五六個の階級に止むるの
り或は之れを數十の階級に區別せるものあるのみ
あらず其前階級と後階級との間に非常なる懸隔を
設くるものあり或は極めて少額あるものありて其
取扱區々難多に分れ何等の統一あれば勢ひ全國
各地の間に負担の均衡を失せざるを得ず去れば今
回は先づ全國を一貫したる一定の等級を定むるの
必要を認め全國を通じて賃貸價格を自有餘の階級
に分つ是等の等級中より各地の狀況により最も適
當ある者を取て以て其賃貸價格とするところせり即
ち例へば甲府の最も利益多き個所は前記百有餘階
級中の第十に該當し以下順次之れに次き乙村に於
ては最も上位にある者と雖も第十五を以て最高賃
貸價格とし以下順次之れに次ぎ丙村は更に第廿を
以て最高の賃貸價格とし、以下之れに次ぐの順序
とあるべきものにして豫め收益の歩合より打算し
たる一定の照尺を示すものあれば今後は其の利益
多少により賃貸價格の等級は全國各地至る所一同
であるを以て從つて負担の公平を計る事を得べし
賃貸價格算定方法 に就て特に周到ある注意
を拂ふ筈にて假令ば同一村内に於ても先づ利益の
多少に從ひて甲、乙、丙、丁に分ちて調査したる後
更に其中に於て夫れ／＼の標準地を求め其賃貸
價格に依りて以上の等級別を定むるものあり。

はどんな人物でも到底役に立つものである。又豪
傑肌の人物も今日では餘り頼母しく思はれぬ。
賃貸價格の等級 宅地價の賃貸價格は從來全
國を一貫したる等級を定めて各地の狀況により之
に適應したものにあらざるを以て現在の各地賃
貸價格は各縣は勿論各郡各市町村に至る所其取扱
を異にし或は其の等級を五六個の階級に止むるの
り或は之れを數十の階級に區別せるものあるのみ
あらず其前階級と後階級との間に非常なる懸隔を
設くるものあり或は極めて少額あるものありて其
取扱區々難多に分れ何等の統一あれば勢ひ全國
各地の間に負担の均衡を失せざるを得ず去れば今
回は先づ全國を一貫したる一定の等級を定むるの
必要を認め全國を通じて賃貸價格を自有餘の階級
に分つ是等の等級中より各地の狀況により最も適
當ある者を取て以て其賃貸價格とするところせり即
ち例へば甲府の最も利益多き個所は前記百有餘階
級中の第十に該當し以下順次之れに次き乙村に於
ては最も上位にある者と雖も第十五を以て最高賃
貸價格とし以下順次之れに次ぎ丙村は更に第廿を
以て最高の賃貸價格とし、以下之れに次ぐの順序
とあるべきものにして豫め收益の歩合より打算し
たる一定の照尺を示すものあれば今後は其の利益
多少により賃貸價格の等級は全國各地至る所一同
であるを以て從つて負担の公平を計る事を得べし
賃貸價格算定方法 に就て特に周到ある注意
を拂ふ筈にて假令ば同一村内に於ても先づ利益の
多少に從ひて甲、乙、丙、丁に分ちて調査したる後
更に其中に於て夫れ／＼の標準地を求め其賃貸
價格に依りて以上の等級別を定むるものあり。

本邦の米作と其改良法

〔日四十月六年七種三第〕

報月所議會業商宮都字

〔日五廿月五年三十四治明〕

米作收穫の増加 二十年前に於ける一反歩の全國
平均の收穫高は、一石四斗内外に過ぎざりしが、
今日に於ては實に二石平均に達したり。是れ一方
に於て農學の進歩と共に肥料の改善、施肥方法の
改良等諸般の耕作方法の發達に基因すること勿論
ありと雖も、他方農氏の科學的普識の進歩は亦
米の收穫を増進せしめたる主要原因たらざ
らず、而して今日の科學的進歩、農民智識
の程度を以て考ふるに、一反歩平均二石有
斗餘を收穫することは、經濟上決して困難
あることにもあらず、又一片机上の空論に
もあらずして、既に全國農事試驗場に於て
豊凶を考照して得たる試験の結果あり。之
に依りて見るに全國の米作總反別を二百八
十九万八反明歩であるときは、我邦米の收
穫高は實に六千三百七十餘万石に上らさ
べからざるあり。

肥料 人造肥料の發達は米の收穫を増加
せしむるを得ざるものあれば、吾人は其地
自ら異なるを得ざるものあれば、其地方々々
に最も適當したる米種を選び、其地方々々
に於ける米種を統一せんと望むあり。

米種改良方法 科學上より米種の改良方法を論す
れば、あか／＼矢ヶ問敷問題とあれども最も實際
的にして容易ある方法は、收穫時に於て發育の最
大の物にして、土地を肥沃あらしむるこ
とに有機質を含有せず、故に人造肥料
は農民の大害は農民の大害の極端ある場合を
除くれば、其土地は終に有機質を含
りて植物を生長せしむる。

論米種の統一といふも全國を統一するにあらず、
風土氣候の異なる從ひて其地方に適する米種も
自ら異なるを得ざるものあれば、吾人は其地
方々々に最も適當したる米種を選び、其地方々々
に於ける米種を統一せんと望むあり。

米種改良方法 科學上より米種の改良方法を論す
れば、あか／＼矢ヶ問敷問題とあれども最も實際
的にして容易ある方法は、收穫時に於て發育の最
大の物にして、土地を肥沃あらしむるこ
とに有機質を含有せず、故に人造肥料
は農民の大害は農民の大害の極端ある場合を
除くれば、其土地は終に有機質を含
りて植物を生長せしむる。

泊せしむるものにして稍日本に於ける問屋業に似
たり居間は賣買當事者の中間に介在し諸般の周旋
を爲し一定の口錢を取ること恰も日本の仲買人に
相當す監考は市場に於て米穀を升量するものにし
て市場取引の米穀は必ず監考之を升量し其の報酬
として一升に充たざる端數を收獲する業体あり
▲工業 韓國の工業は現時殆んど見るべきものあ
く綿布麻布絹布の製織業製紙業陶磁業金屬器業等
必要品は大抵之を國內に求め製作するも家内業の
傳習又は摸範を示し尙ほ本年より機業巡回教師を
置く等銳意其の改良發達に努めつゝあれば遠から
ず政府は明治三十八年印刷局を龍山に四十年に工
業傳習所を京城に煉瓦製造所を孔德里に設け其の
傳習又は摸範を示し尙ほ本年より機業巡回教師を
置く等銳意其の改良發達に努めつゝあれば遠から
ず大發展を爲すへと

〔日五廿月五年三十四治明〕

號五拾八第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

號五拾四第

號五拾五第

號五拾六第

號五拾七第

號五拾八第

號五拾九第

號五拾十第

號五拾一第

號五拾二第

號五拾三第

大同盟罷工に就て

〔六〕

〔七〕 第八十五號 明治三十四年五月廿日

〔八〕 第八十六號 明治三十四年五月廿日

今日荀文明國と稱せらるる國にして彼の同盟罷工にてふ恐るべき疫病に罹ざるものとして非ざるあき有様あるが而もこは決して近世に於て彼の所謂種子毒かぬ烟に草生え花咲かぬ木に實の結ぶが如き不自然的に偶然發生したるものにあらずして遠く羅馬の盛代にその根源を有し彼の奴隸戦争貴族征伐をありて萌芽し中世紀に至りて隨所適所にその枝葉蔓延しかくて十四世紀頃には既に一個の形體を備へて世の耳目を驚かすに至れり然れどもその今日に於けるが如き主として經濟上の物議として發達し來れるは極く近世の出來事にして彼の佛蘭西の大革命てふ國民的大ストライキを以てその政治的半生を終り後五十有餘を經て勞銀問題獨乙に就て見るにその經濟的性質の同盟罷工は千八百四十八乃至九の兩年に於ける印刷職工、鐵道工夫及び泥工等のストライキを以てその端初となり十數年の平和時代を過ぎて一千八百七十年に至る五六ヶ年間に於て幾千回の同盟罷工を見たるが千八百八十二年よりは次第にその規模擴大し來り千八百八十九年に於ては柏林に於て市外の大建築を起工中突然二萬五千人の泥工夫大ストライクを起しこれに柏林の醸造業の労動者等加入して一大粉擾を極めたるが同年五月八日にはライン、ウエストフアーレン地方の炭坑工夫約十萬一時に休業し企業家の荒贋を抜さざる後同月十九日柏林に於ける調停により略その目的を達し。千八百九十六年には柏林の製糞職工の大同盟罷工を見たるがこは從前如く勞銀の引上げを云々するものとの性質を異にし彼のスウーチング、システム

〔九〕 第八十七號 明治三十五年四月廿日

ボアーリの運命

南阿戰爭は遂に衆寡敵せざると又文明利器の爲に脆くも一敗地に塗れ杜國は永く大英國羈絆の下に呻吟する事となつたが、祖國の爲に鍔と劍を取代へて孤軍奮闘斃れて、後休んだ氣概は人も知る如く多情多恨の詩人等をして「嗚呼ボアーリ」を唄はしめ敬慕の念と共に悲哀の袖を絞らせたのである而も此追憶多きボアーリの亡民が戰後如何なる運命に左右せられつゝあるかを述ぶるも亦一興味であるふ▲タルゲル大統領は捕虜となり英國に謹送され數年間味氣をき配所の月を眺て居たが間もなく死んで今はペトリアの冷き苔の下に千載の恨を呑んでおレンデ自由國の前大統領でナカーリの猛將であつたが、戰時中日射病に罹つて脳を痛めた以來少しき變になつた、ソレでも南阿聯邦政治の爲には非常に功績のある男である目下自分の領地アロエム、フォン、テンに隠退して居る▲クリスチヤンデウエート君は屢々お伽話の主人公又實業家として世間に知られて居る現オレンデ政府の農務卿である。一體英國政府は其殖民政策として南阿諸國の施政方針を根本的に改革することなく僅に一部分を變更したる迄に主ある主權者はあるべく歐洲の出にして永らく其地に居住し人情風俗を悉知せるもの或は士人の中より選任する事にして居る。同君の如きは即ち其一人である。ソレで居て同君は土人間に極めて人望がある、其の辯戰前述は非常に入望のあつた人が、戰時の際自分の統御して居る部下の規律が紊乱してゐて命令が行届かないのを見た時「軍隊の不規律は大敵の來襲よりも恐るべし」と、斯ふ考へた君は其の部下の軍律を改

害あるを稱へて組織の變更を請求せるものあり。而して最も大影響を及したるは同年末より翌年二月に亘れる漢堡の港内労働者の大同盟罷工にしてその數一萬七千に上り爲めに港内碇泊中の數千の船舶並にボーエーメン及ブランデンブルク地方との連絡運河通航船舶の打撃絶大にして船主の被害額は三四千萬馬克に達せるが而も右労働者又ストライキ維持費として一百五十萬馬克を費消し且つ二月乃至三ヶ月間の勞銀四百萬馬克を失ひたるを以て遂に敗戦服從するに至れり。この船員大同盟罷工に次いて千九百年には柏林市の市街電氣鐵道の車掌、運轉、線路工夫の大同盟罷工其他千八百九十七年千九百三十年乃至千九百六年に於ける瑞西、埃及、洪國等の鐵道工夫等のストライキ、伊太利ロングバルダイの電氣鐵道、高架鐵道等の工場等の同盟休業等は當該諸國の交通上に甚大の打撃を與へたりき。而して獨乙國のみならず世界に於ける最大同盟罷工は昨年瑞典全國の労働者が企てたる總同盟休業に加入して漸く國家の軍隊を動かしてその鎮定を見るを得たる有様あるが又米國に於ては千八百八十一より千九百年に至る十ヶ年間に於てストライキ総數二萬二千八百その被害工場一千萬八千その關係労働者六百萬人てふ驚くべき統計を示せるがその結果失ひたる勞銀高は二億五千八百萬弗にしてこれに及し企業家の被害は一億三千五百萬弗に過ぎざりといふ。而して千九百二十年ベンシルバニアに於ける鑛山労働者の同盟罷工はその數三十萬人を算したるが千九百五年ラインウエストフアーレン地方に於ける畧同數の大同盟罷工は獨乙に於ける空前の出來事ありといふ。

革せんが爲に悉く嚴重ある態度を執つた、ソレが爲に衆の怨恨を一身に集め今に至るまで不人望だと云ふ事である。處がもう一つ奇怪な噂があるソレは戰前赤貧であつた君が戰後俄に鉅萬の財を擁して居る事で千九百年六月六日ヨハネスブルグ占領後バーレス河の南、ルーデワール附近で部下と共に英軍の轄重隊を襲撃し之を追ひ散らしたるが其の際五十萬磅許りの金貨を分取りし持歸ふとして英國軍の逆襲急にして到底全部を收拾する事能はず一部を地中に埋め残部を持歸つた、而して戰慄事情を知れる部下の二三に幾千かを分配し殘部を悉く自分の所有にしたと云はれて居る。けれども何れの國でも憤るを噂が戰後に起る事は普通であるから之が爲に俄分限になつたとは容易に信じ切れあい事である▲デラレー將軍はボアーリ中の鏑々たる者で又好人物である、戰後總ての野心を斷つて領地のリツヒテンブルグに隠れたが何しろ未曾有の激戦であつたのであるソレコソ祖先傳來の田畠や家畜は馬蹄に蹂躪せられて見る影もよく荒れ果て居た、仕方が無いから僅に少許の田園を拓ひて生活して居る、君は同郷選出代議士で議會開會中ブレニニア行く外は全く塵寰を遠く離れた此の片田舎に住んで居る▲ルイス、ボーダ及ヤンセンノン両君は又却々の豪傑黨等であつたが今は杜國政府に有數の位置を占めて居る、何れも多望ある人で政治家たると同時に實業家である殊にヤンセン君の如き齡未だ漸く四十と云へば將來の活動は必ず期する所である。此の外ベンビリベン將軍あり又好人物で勇敢に戦つた一人であつたが中途で佛蘭西の女流音樂家に伴はれ今では米國テキサスに困つて居る所である。爾餘のセントヘンダ、印度、錫倫等に追放されたボアーリの多くは國に歸つてからも土地をも財産をも今でも大いに困つて居る所である。

〔一〕 貨金聚散高
〔二〕 貨金聚散高
〔三〕 貨金聚散高
〔四〕 貨金聚散高
〔五〕 貨金聚散高
〔六〕 貨金聚散高
〔七〕 貨金聚散高
〔八〕 貨金聚散高
〔九〕 貨金聚散高
〔十〕 貨金聚散高
〔十一〕 貨金聚散高
〔十二〕 貨金聚散高
〔十三〕 貨金聚散高
〔十四〕 貨金聚散高
〔十五〕 貨金聚散高
〔十六〕 貨金聚散高
〔十七〕 貨金聚散高
〔十八〕 貨金聚散高
〔十九〕 貨金聚散高
〔二十〕 貨金聚散高
〔二十一〕 貨金聚散高
〔二十二〕 貨金聚散高
〔二十三〕 貨金聚散高
〔二十四〕 貨金聚散高
〔二十五〕 貨金聚散高
〔二十六〕 貨金聚散高
〔二十七〕 貨金聚散高
〔二十八〕 貨金聚散高
〔二十九〕 貨金聚散高
〔三十〕 貨金聚散高
〔三十一〕 貨金聚散高
〔三十二〕 貨金聚散高
〔三十三〕 貨金聚散高
〔三十四〕 貨金聚散高
〔三十五〕 貨金聚散高
〔三十六〕 貨金聚散高
〔三十七〕 貨金聚散高
〔三十八〕 貨金聚散高
〔三十九〕 貨金聚散高
〔四十〕 貨金聚散高
〔四十一〕 貨金聚散高
〔四十二〕 貨金聚散高
〔四十三〕 貨金聚散高
〔四十四〕 貨金聚散高
〔四十五〕 貨金聚散高
〔四十六〕 貨金聚散高
〔四十七〕 貨金聚散高
〔四十八〕 貨金聚散高
〔四十九〕 貨金聚散高
〔五十〕 貨金聚散高
〔五十一〕 貨金聚散高
〔五十二〕 貨金聚散高
〔五十三〕 貨金聚散高
〔五十四〕 貨金聚散高
〔五十五〕 貨金聚散高
〔五十六〕 貨金聚散高
〔五十七〕 貨金聚散高
〔五十八〕 貨金聚散高
〔五十九〕 貨金聚散高
〔六十〕 貨金聚散高
〔六十一〕 貨金聚散高
〔六十二〕 貨金聚散高
〔六十三〕 貨金聚散高
〔六十四〕 貨金聚散高
〔六十五〕 貨金聚散高
〔六十六〕 貨金聚散高
〔六十七〕 貨金聚散高
〔六十八〕 貨金聚散高
〔六十九〕 貨金聚散高
〔七十〕 貨金聚散高
〔七十一〕 貨金聚散高
〔七十二〕 貨金聚散高
〔七十三〕 貨金聚散高
〔七十四〕 貨金聚散高
〔七十五〕 貨金聚散高
〔七十六〕 貨金聚散高
〔七十七〕 貨金聚散高
〔七十八〕 貨金聚散高
〔七十九〕 貨金聚散高
〔八十〕 貨金聚散高
〔八十一〕 貨金聚散高
〔八十二〕 貨金聚散高
〔八十三〕 貨金聚散高
〔八十四〕 貨金聚散高
〔八十五〕 貨金聚散高
〔八十六〕 貨金聚散高
〔八十七〕 貨金聚散高
〔八十八〕 貨金聚散高
〔八十九〕 貨金聚散高
〔九十〕 貨金聚散高
〔九十一〕 貨金聚散高
〔九十二〕 貨金聚散高
〔九十三〕 貨金聚散高
〔九十四〕 貨金聚散高
〔九十五〕 貨金聚散高
〔九十六〕 貨金聚散高
〔九十七〕 貨金聚散高
〔九十八〕 貨金聚散高
〔九十九〕 貨金聚散高
〔一百〕 貨金聚散高
〔一百零一〕 貨金聚散高
〔一百零二〕 貨金聚散高
〔一百零三〕 貨金聚散高
〔一百零四〕 貨金聚散高
〔一百零五〕 貨金聚散高
〔一百零六〕 貨金聚散高
〔一百零七〕 貨金聚散高
〔一百零八〕 貨金聚散高
〔一百零九〕 貨金聚散高
〔一百一十〕 貨金聚散高
〔一百一十一〕 貨金聚散高
〔一百一十二〕 貨金聚散高
〔一百一十三〕 貨金聚散高
〔一百一十四〕 貨金聚散高
〔一百一十五〕 貨金聚散高
〔一百一十六〕 貨金聚散高
〔一百一十七〕 貨金聚散高
〔一百一十八〕 貨金聚散高
〔一百一十九〕 貨金聚散高
〔一百二十〕 貨金聚散高
〔一百二十一〕 貨金聚散高
〔一百二十二〕 貨金聚散高
〔一百二十三〕 貨金聚散高
〔一百二十四〕 貨金聚散高
〔一百二十五〕 貨金聚散高
〔一百二十六〕 貨金聚散高
〔一百二十七〕 貨金聚散高
〔一百二十八〕 貨金聚散高
〔一百二十九〕 貨金聚散高
〔一百三十〕 貨金聚散高
〔一百三十一〕 貨金聚散高
〔一百三十二〕 貨金聚散高
〔一百三十三〕 貨金聚散高
〔一百三十四〕 貨金聚散高
〔一百三十五〕 貨金聚散高
〔一百三十六〕 貨金聚散高
〔一百三十七〕 貨金聚散高
〔一百三十八〕 貨金聚散高
〔一百三十九〕 貨金聚散高
〔一百四十〕 貨金聚散高
〔一百四十一〕 貨金聚散高
〔一百四十二〕 貨金聚散高
〔一百四十三〕 貨金聚散高
〔一百四十四〕 貨金聚散高
〔一百四十五〕 貨金聚散高
〔一百四十六〕 貨金聚散高
〔一百四十七〕 貨金聚散高
〔一百四十八〕 貨金聚散高
〔一百四十九〕 貨金聚散高
〔一百五十〕 貨金聚散高
〔一百五十一〕 貨金聚散高
〔一百五十二〕 貨金聚散高
〔一百五十三〕 貨金聚散高
〔一百五十四〕 貨金聚散高
〔一百五十五〕 貨金聚散高
〔一百五十六〕 貨金聚散高
〔一百五十七〕 貨金聚散高
〔一百五十八〕 貨金聚散高
〔一百五十九〕 貨金聚散高
〔一百六十〕 貨金聚散高
〔一百六十一〕 貨金聚散高
〔一百六十二〕 貨金聚散高
〔一百六十三〕 貨金聚散高
〔一百六十四〕 貨金聚散高
〔一百六十五〕 貨金聚散高
〔一百六十六〕 貨金聚散高
〔一百六十七〕 貨金聚散高
〔一百六十八〕 貨金聚散高
〔一百六十九〕 貨金聚散高
〔一百七十〕 貨金聚散高
〔一百七十一〕 貨金聚散高
〔一百七十二〕 貨金聚散高
〔一百七十三〕 貨金聚散高
〔一百七十四〕 貨金聚散高
〔一百七十五〕 貨金聚散高
〔一百七十六〕 貨金聚散高
〔一百七十七〕 貨金聚散高
〔一百七十八〕 貨金聚散高
〔一百七十九〕 貨金聚散高
〔一百八十〕 貨金聚散高
〔一百八十一〕 貨金聚散高
〔一百八十二〕 貨金聚散高
〔一百八十三〕 貨金聚散高
〔一百八十四〕 貨金聚散高
〔一百八十五〕 貨金聚散高
〔一百八十六〕 貨金聚散高
〔一百八十七〕 貨金聚散高
〔一百八十八〕 貨金聚散高
〔一百八十九〕 貨金聚散高
〔一百九十〕 貨金聚散高
〔一百九十一〕 貨金聚散高
〔一百九十二〕 貨金聚散高
〔一百九十三〕 貨金聚散高
〔一百九十四〕 貨金聚散高
〔一百九十五〕 貨金聚散高
〔一百九十六〕 貨金聚散高
〔一百九十七〕 貨金聚散高
〔一百九十八〕 貨金聚散高
〔一百九十九〕 貨金聚散高
〔一百二十〕 貨金聚散高
〔一百二十一〕 貨金聚散高
〔一百二十二〕 貨金聚散高
〔一百二十三〕 貨金聚散高
〔一百二十四〕 貨金聚散高
〔一百二十五〕 貨金聚散高
〔一百二十六〕 貨金聚散高
〔一百二十七〕 貨金聚散高
〔一百二十八〕 貨金聚散高
〔一百二十九〕 貨金聚散高
〔一百三十〕 貨金聚散高
〔一百三十一〕 貨金聚散高
〔一百三十二〕 貨金聚散高
〔一百三十三〕 貨金聚散高
〔一百三十四〕 貨金聚散高
〔一百三十五〕 貨金聚散高
〔一百三十六〕 貨金聚散高
〔一百三十七〕 貨金聚散高
〔一百三十八〕 貨金聚散高
〔一百三十九〕 貨金聚散高
〔一百四十〕 貨金聚散高
〔一百四十一〕 貨金聚散高
〔一百四十二〕 貨金聚散高
〔一百四十三〕 貨金聚散高
〔一百四十四〕 貨金聚散高
〔一百四十五〕 貨金聚散高
〔一百四十六〕 貨金聚散高
〔一百四十七〕 貨金聚散高
〔一百四十八〕 貨金聚散高
〔一百四十九〕 貨金聚散高
〔一百五十〕 貨金聚散高
〔一百五十一〕 貨金聚散高
〔一百五十二〕 貨金聚散高
〔一百五十三〕 貨金聚散高
〔一百五十四〕 貨金聚散高
〔一百五十五〕 貨金聚散高
〔一百五十六〕 貨金聚散高
〔一百五十七〕 貨金聚散高
〔一百五十八〕 貨金聚散高
〔一百五十九〕 貨金聚散高
〔一百六十〕 貨金聚散高
〔一百六十一〕 貨金聚散高
〔一百六十二〕 貨金聚散高
〔一百六十三〕 貨金聚散高
〔一百六十四〕 貨金聚散高
〔一百六十五〕 貨金聚散高
〔一百六十六〕 貨金聚散高
〔一百六十七〕 貨金聚散高
〔一百六十八〕 貨金聚散高
〔一百六十九〕 貨金聚散高
〔一百七十〕 貨金聚散高
〔一百七十一〕 貨金聚散高
〔一百七十二〕 貨金聚散高
〔一百七十三〕 貨金聚散高
〔一百七十四〕 貨金聚散高
〔一百七十五〕 貨金聚散高
〔一百七十六〕 貨金聚散高
〔一百七十七〕 貨金聚散高
〔一百七十八〕 貨金聚散高
〔一百七十九〕 貨金聚散高
〔一百八十〕 貨金聚散高
〔一百八十一〕 貨金聚散高
〔一百八十二〕 貨金聚散高
〔一百八十三〕 貨金聚散高
〔一百八十四〕 貨金聚散高
〔一百八十五〕 貨金聚散高
〔一百八十六〕 貨金聚散高
〔一百八十七〕 貨金聚散高
〔一百八十八〕 貨金聚散高
〔一百八十九〕 貨金聚散高
〔一百九十〕 貨金聚散高
〔一百九十一〕 貨金聚散高
〔一百九十二〕 貨金聚散高
〔一百九十三〕 貨金聚散高
〔一百九十四〕 貨金聚散高
〔一百九十五〕 貨金聚散高
〔一百九十六〕 貨金聚散高
〔一百九十七〕 貨金聚散高
〔一百九十八〕 貨金聚散高
〔一百九十九〕 貨金聚散高
〔一百二十〕 貨金聚散高
〔一百二十一〕 貨金聚散高
〔一百二十二〕 貨金聚散高
〔一百二十三〕 貨金聚散高
〔一百二十四〕 貨金聚散高
〔一百二十五〕 貨金聚散高
〔一百二十六〕 貨金聚散高
〔一百二十七〕 貨金聚散高
〔一百二十八〕 貨金聚散高
〔一百二十九〕 貨金聚散高
〔一百三十〕 貨金聚散高
〔一百三十一〕 貨金聚散高
〔一百三十二〕 貨金聚散高
〔一百三十三〕 貨金聚散高
〔一百三十四〕 貨金聚散高
〔一百三十五〕 貨金聚散高
〔一百三十六〕 貨金聚散高
〔一百三十七〕 貨金聚散高
〔一百三十八〕 貨金聚散高
〔一百三十九〕 貨金聚散高
〔一百四十〕 貨金聚散高
〔一百四十一〕 貨金聚散高
〔一百四十二〕 貨金聚散高
〔一百四十三〕 貨金聚散高
〔一百四十四〕 貨金聚散高
〔一百四十五〕 貨金聚散高
〔一百四十六〕 貨金聚散高
〔一百四十七〕 貨金聚散高
〔一百四十八〕 貨金聚散高
〔一百四十九〕 貨金聚散高
〔一百五十〕 貨金聚散高
〔一百五十一〕 貨金聚散高
〔一百五十二〕 貨金聚散高
〔一百五十三〕 貨金聚散高
〔一百五十四〕 貨金聚散高
〔一百五十五〕 貨金聚散高
〔一百五十六〕 貨金聚散高
〔一百五十七〕 貨金聚散高
〔一百五十八〕 貨金聚散高
〔一百五十九〕 貨金聚散高
〔一百六十〕 貨金聚散高
〔一百六十一〕 貨金聚散高
〔一百六十二〕 貨金聚散高
〔一百六十三〕 貨金聚散高
〔一百六十四〕 貨金聚散高
〔一百六十五〕 貨金聚散高
〔一百六十六〕 貨金聚散高
〔一百六十七〕 貨金聚散高
〔一百六十八〕 貨金聚散高
〔一百六十九〕 貨金聚散高
〔一百七十〕 貨金聚散高
〔一百七十一〕 貨金聚散高
〔一百七十二〕 貨金聚散高
〔一百七十三〕 貨金聚散高
〔一百七十四〕 貨金聚散高
〔一百七十五〕 貨金聚散高
〔一百七十六〕 貨金聚散高
〔一百七十七〕 貨金聚散高
〔一百七十八〕 貨金聚散高
〔一百七十九〕 貨金聚散高
〔一百八十〕 貨金聚散高
〔一百八十一〕 貨金聚散高
〔一百八十二〕 貨金聚散高
〔一百八十三〕 貨金聚散高
〔一百八十四〕 貨金聚散高
〔一百八十五〕 貨金聚散高
〔一百八十六〕 貨金聚散高
〔一百八十七〕 貨金聚散高
〔一百八十八〕 貨金聚散高
〔一百八十九〕 貨金聚散高
〔一百九十〕 貨金聚散高
〔一百九十一〕 貨金聚散高
〔一百九十二〕 貨金聚散高
〔一百九十三〕 貨金聚散高
〔一百九十四〕 貨金聚散高
〔一百九十五〕 貨金聚散高
〔一百九十六〕 貨金聚散高
〔一百九十七〕 貨金聚散高
〔一百九十八〕 貨金聚散高
〔一百九十九〕 貨金聚散高
〔一百二十〕 貨金聚散高
〔一百二十一〕 貨金聚散高
〔一百二十二〕 貨金聚散高
〔一百二十三〕 貨金聚散高
〔一百二十四〕 貨金聚散高
〔一百二十五〕 貨金聚散高
〔一百二十六〕 貨金聚散高
〔一百二十七〕 貨金聚散高
〔一百二十八〕 貨金聚散高
〔一百二十九〕 貨金聚散高
〔一百三十〕 貨金聚散高
〔一百三十一〕 貨金聚散高
〔一百三十二〕 貨金聚散高
〔一百三十三〕 貨金聚散高
〔一百三十四〕 貨金聚散高
〔一百三十五〕 貨金聚散高
〔一百三十六〕 貨金聚散高
〔一百三十七〕 貨金聚散高
〔一百三十八〕 貨金聚散高
〔一百三十九〕 貨金聚散高
〔一百四十〕 貨金聚散高
〔一百四十一〕 貨金聚散高
〔一百四十二〕 貨金聚散高
〔一百四十三〕 貨金聚散高

宇都宮物價

(●下落)

タムラホ
ガムサツカ

干錫十貫目

南野州產

砂糖百斤

八戸產

東京人造肥料會社製

玉砂糖

北海道產

車糖

本名和白

朝鮮產

油粕

牛莊產

鮑搾滓

十貫目

赤糠

十貫目

鰈粕

十貫目

過磷酸

十貫目

干鰈粕

十貫目

鹽

八戸產

砂糖

北海道產

米

野州產

味醂

十貫目

大麥

十貫目

大豆

十貫目

米

野州產

味醂

十貫目

米

野州產

八月

四十二年

四十三年

四十四年

四十五年

四十六年

四十七年

四十八年

四九年

五十年

五一年

五二年

五三年

五四年

五五年

五六年

五七年

五八年

五九年

六十年

六一年

六二年

六三年

六四年

六五年

六六年

六七年

六八年

六九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

七十年

七一年

七二年

七三年

七四年

七五年

七六年

七七年

七八年

七九年

<p

市內製造業戶數并諸職工
—△四十三年五月二十日

米戶數并諸職工

農銀法改正と影響

農銀法改正と影響

勸業銀行に

日本財政觀

經濟家（自由貿

曾て佛國工部大臣たり又有名ある經濟家（自由貿易論者）たるジユルナール、ドエコノミスト主筆イヴスグヨー氏は三月十五日の同紙上に於て日本財政に關する一大論文を掲載したりイ氏は劈頭先づ日露戰爭に於ける日本の戰勝を豫言したることより日本の財政的注意の深甚周匝ある事に言及し左の如く結論せり

要するに桂侯の財政政策は極めて可あるものあり曾て一九〇四年一月日本にして若も露國と戰ひあは恐らく不幸ある境遇に陥るべしと思惟したりし多くの佛國民は其結果の意外に驚き又近く桂侯の第二次内閣の執れる財政々策を以て新公債を募集するあらんと思惟したりし佛國民は其借換公債の發表を寧ろ意外としたりき蓋し彼等は如何に日本が何時にも戰爭の準備を爲しつゝありと解すれば事實は軍事費の縁延を爲したり日本人は戰に於て偉大なる陸海軍人ある事を發揮したれども又其反面に於ては戰爭以外大ある事を爲し得る國民あり千九百七年十月海牙平和會議に於て日本の參列委員都筑男爵は日本を代表して最近の二大戰爭前に於て日本は平和の三世紀を送りたりと云へるは如何にも戰爭以外に日本が堪ふる平和の使命を説明せるものと云ふべし。

＊＊＊

遞信省にては電話完成の目的を以て目下施行中ある第二期擴張の外新たに急設電話の制を設けつゝあるが今電話事業の現状を聞くに今日迄全國を通じ架設を終りたるは本年二月末日現在普通八万三千〇二十三基、特設一万五千三百基合計九万八千三百二十三基にて未設の分即ち二月末の加入申込者總數四万三千三百三十基あり之に對し一ヶ年の普通開通至開通合計約一万五千基あるを以て第二期擴張の期限たる明治四十五年迄には今日迄の申込個數は全部開通し終る計算あるも今後の申込者を豫想する時は一ヶ年平均約三百（二月中分の申込三百十八）にして四十五年の末には一万以上に達すべく現に目下架設中のものは三十三年の申込に係る分を以て見るも今後三年間に全部の開通となることは到底不可能の事にして電話完成の前途は尙ほ未だ遼遠ある状態にあり今現在の普通電話開通場所及び其加入者數を舉ぐれば左の如し

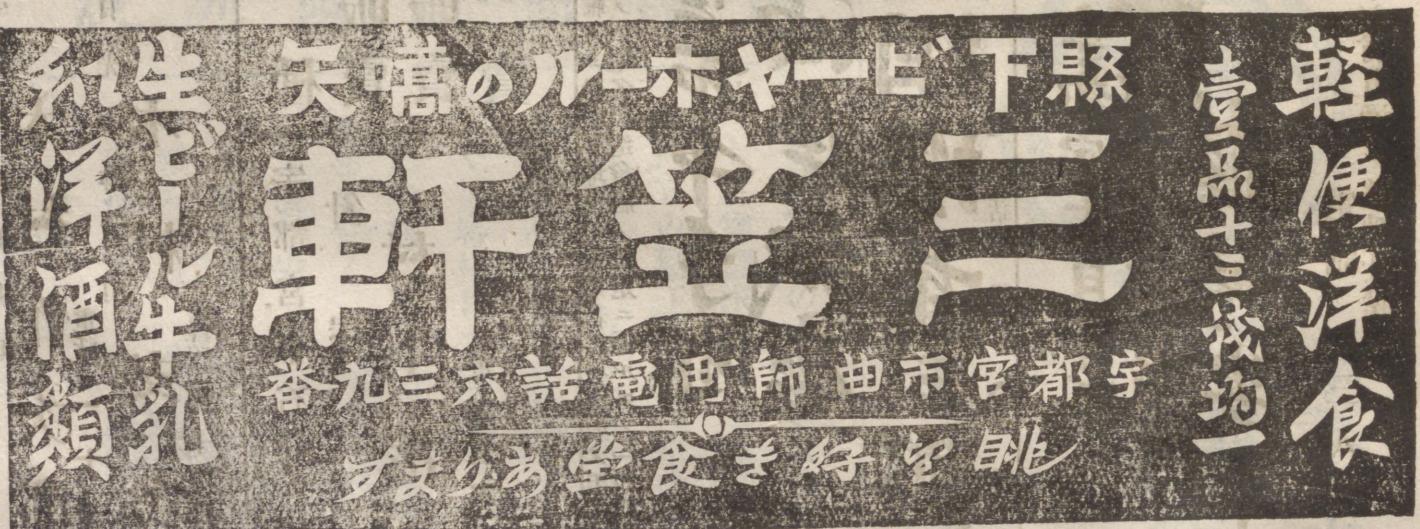
廿五議會の協賛を経て昨年四月公布せられ又立木の先取特權を規定したる法律は第廿六議會の協賛を經て去月十五日公布せられたるが此日勅令を以て右兩法律の施行期日を本月二十日と定められたり即ち立木の所有者は本法により其所有權登記を受けたる場合は之を不動產と見做し土地と分離して讓渡し又は抵當權の目的と爲すを得べく土地所有者に對し樹木の價格に應じ一定割合の地代を支拂ふべき義務ある場合は土地所有權は地代に付立木の上に先取特權を有する旨をも定めたるものにして立木處分に付從來の法制に比し頗る便宜を加へたる次第あり。

●貸長屋取締
各市街を通じ貸長屋取締
又制定しあるも各地方廳
涉り毫も統一あく其結果
如きは從來の統計に徴す
首都を始め全國各地方市
即ち貸長屋住民より發生
民に禍害を及ぼし公共衛
及ぼす影響不尠に付過般
部長會議にも主務大臣よ
座取締に關し諮詢せるが

全國各市街を通じ貸長屋取締規則は未だ制定せられず又制定しあるも各地方廳を通じ其取締方法區々に涉り毫も統一あく其結果各種傳染病を始め火炎の如きは從來の統計に徴するも東京、大阪、京都等首都を始め全國各地方市街に於ては何れも貧民窟即ち貸長屋住民より發生し漸次流行傳播し幾多市民に禍害を及ぼし公共衛生上は勿論國家産業上に及ぼす影響不尠に付過般内務省に開會せる全國警部長會議にも主務大臣より惡疫及火炎豫防上貢長屋取締に關し諮詢せるが各自意見を換せし結果之を統一にし取締を實施する事に決定し左の標準に依り屬行する方針ありと云ふ

▲貸長屋取締標準

一棟の戸數は十二戸以内たるべき事△幅九尺以上の通路に面せしむる事△屋後及側面には幅三尺以上の空地を存する事△床下の地盤は前面の通路面より高からしむる事△敷地の土質不潔あるときは更に盛土を爲す事△建物の周圍には適當ある換氣設備を爲す事△住屋の床は地盤高さ一尺以上たるべき事△床板は容易に取外し得る様施行する△住室の天井は床上高さ七尺以上たらしむる事△屋根には軒樋及堅樋を設くる事△一戸毎に出入口の外相當の換氣及び採光設備を爲す事共同便所を設くるときは前面の軒下以外に於て少くとも六戸に一ヶ所を設くる事。



本城控訴院の證據決定に據り宇都宮區裁判より本
議所會頭に命ぜられたる糲取引慣習に關する鑑定
事項及之に對し本月五日堤出したる鑑定書左の
如し

官 鑑 定 事 項

一、栃木縣下ニ於テ糲穀等雜穀ノ賣買ヲ爲スニ
當リ四十八貫目ヲ以テ價格ノ單位ト爲ス習
慣アリヤ若シアリトセハソハ十六貫目儀三
個ヨリ成立スルニアラズヤ

二、右單位ノ賣買ニアリテハ風袋ヲ込ムルモノ
ナリヤ將正味丈ナリヤ

三、若シ風袋ヲ込ムル慣習ナリトスルモ各儀十
六貫ナラズ其貫數區々ニシテ亂雜ナルトキ
ハ風袋ヲ差引き正味丈ヲ以テ計算スルモノ
ニアラズヤ

四、然ラザルトキハ各儀ヲ十六貫目ニ改造シ之
ニ要スル費用ト滅失トヲ代金ヨリ差引クモ
ノニアラズヤ

五、普通第三項ノ方法ニ依ルモ第四項ノ方法ニ
依ルモ其結果ハ金錢上略ホ同一ニ歸着スル
モノニアラズヤ

六、新乙第四號證ノ三、新乙第五號證ノ二ノ如
ク各儀ノ貫數區々ナルトキハ當然風袋ヲ除
キ代價ヲ計算スペキモノニアラズヤ

以 上

鑑 定 書（別紙）

第一項

栃木縣下ニ於テ糲ヲ取引ノ目的ニ供スルハ僅カ
ニ那須郡ノ北部佐久山町、野崎村、太田原町、西
那須野村、東那須野村等ニ過ギズ
是等各地ニ於テ糲ノ取引ヲ爲スニ四十八貫ヲ以
テ單位トスルハ一般ノ習慣ニシテ四十八貫ハ三
儀ニ分容スルヲ通例トス

四十八貫ノ單位ハ風袋ヲ込メ計算スルモノトス

第一項

第二項

第三項

鑑定事項

須郡ノ北部佐久山町野村、東那須野村等ニ過

第三項

四十八貫ノ單位ハ風袋ヲ込メ計算スルモノトス
儀ニ分容スルヲ通例トス

宇都宮驛發着貨物調查表

宇都宮商業會議所に於ては青森市稀有の大火災にて罹災民の窮状を聞知し議員并特別議員より醸出したる義捐金六拾參圓を本月二十日附にて青森商考ス
但四十八貫ハ三俵ニ分容スルヲ以テ通例トス
ルカ故ニ取引ニ供セラレタル總俵數カ四十八
貫ヲ以テ其取引セラレタル總貫數ヲ除シ之ヲ
三俵ニ乘シテ得タル俵數ヨリ多キトキハ其超
過俵ノ風袋ヲ如何ニシテ計算スルノ理由ナキモノト思
外ノ問題トス

第四項

第五項

各俵ノ貫數區々ナル場合ト雖トモ之ヲ十六貫目均一ニ改造シ之ニ要スル費用ト損失トヲ代金ヨリ差引キ計算スルカ如キコトハ無之モノト思考ス

正味丈ニテ計算スル場合ト各俵ヲ十六貫目ニ改
造シ之ニ要スル費用ト損失トヲ代金ヨリ差引キ
計算スル場合トニ於テ金錢上其結果ガ如何ニ歸
着スルカハ賣買ノ目的ニ供セラタル物件ノ状態
ニヨリ計算ヲ異ニスヘキヲ以テ明言スル能ハズ
ニヨリ計算ヲ異ニスヘキヲ以テ明言スル能ハズ

第六項

新乙第四號證ノ三ニ於ケル糾七百俵ハ其總貫數
九千四百八十二貫二百匁ヲ單位タル四十八貫ニ
テ除シ之ヲ三俵ニ乘シテ得タルモノ即チ五百九
十一俵ニ超過スルコト百九俵又新乙第五號證ノ
二ニ於ケル糾七十一俵ハ其總貫數千七貫九百目
ヲ四十八貫ニテ除シ之ヲ三俵ニ乘シテ得タルモノ即チ六十三俵ニ超過スルコト八俵ニシテ總計
ニ於テ單位タル四十八貫三俵トシテノ計算ニ超
過スルヲ百十七俵ナリ此ノ場合ニ於テ全ク風袋ヲ
除外シテ計算スペキカ又ハ全ク之ヲ込メテ計算スベキカ將又超過俵即チ百十七俵ノ風袋ノミ
ヲ差引キテ計算スペキカニ付テハ全ク風袋ヲ差
引キテ計算スペキモノニアラズト思考スルモ此
超過俵ノ風袋ヲ如何ニ扱フベキカハ不明ナリ

次丈ニテ計算
之ニ要スル
算スル場合ト
ヘルカハ賣買

青森市大火義捐金

▼川蟹の調理法▲

業會議所へ送附し之れか手續方を依頼したるが同所より廿三日附を以て青森市長の挨拶状并領收證を添へ手續済の旨通知越されたり

上野松次郎、手塚五郎平、齊藤太兵衛、矢板武、瀧澤喜平治
福田常兵衛(以上參圓)田中勝次郎、村山金平、篠崎安平、福
田富次郎、村上濱吉、坂本八郎、青木仁平、吉田源吉郎、石
田仁太郎、本多錄吉、行森龍太(以上貳圓)古泉徳次郎、矢澤
良松、横山清次、石田當造、木村作次郎、清水清藏、鈴木久
右工門、大島三千、上野房吉、新村仙吉、伊澤清三郎、上野
房之助、福田恒吉、渡邊長吉、矢島中、相場直三郎、横倉正
吉、大野七兵衛、峯岸福三郎、久我彌平、黒川徳藏、河合長
藏、柿沼新次郎(以上壹圓)

▼川蟹の調理法▲

▼支那料理の非常に發達して又贅澤であるといふことは能く人の言ふ所であつて中には隨分變つた料理法によるものがある、現に上海あたりで酒の下物に出す川蟹をども其一種で其の料理をどはむかく念か入つて居る。即ち先づ生た川蟹を壺の上内に入れ中には箸の如き細き棒を交叉して蟹の上り下り運動するやうにし、餌には鶏卵の黄味ばかりを入れて置くのである、すると川蟹先生といつは旨いと頻りに其黄味を味ふか、水が無のて喉か乾いて來る其時分を計つて黄味の外に、ちびくと酒を呑ますのである、今度は先生陶然と宜い心地にあつて、黄味を食つては酒を吸ひ、果ては壺中に熟睡して前後も知らす李大白をきめ込むで居る所を上からびたりと密閉し保存して置くのである之を數十日の後に出して裂いて味ふと、其脳味噌は鶏卵の黄味と混して、それに酒が十分全身に浸み込んで居るので其内の味は何とも云へぬ佳味があるので支那の食道樂仲間には非常に珍重せられて居る。

大谷石材販賣
宇都宮市本郷町廿八番地
商號久喜屋
電話 三〇六番
電略(クキヤ)又ハ(キ)
〔石材〕問屋坂本仲
〔電話〕四〇八番
光力電燈より光強し
アセチリン瓦斯
〔瓦斯〕光料力一バイト
其他機具一式
〔毫モナシ〕
御注文ニ應シ取付其他点燈迄一切請負可申候御
一報次第店員出張萬事御協議可申候

〔廣告〕

肥料麻苧
藍
〔肥料〕麻苧
〔藍〕

福田恒吉

關澤商店
〔大谷石材販賣〕
宇都宮市川向町
〔宇都宮市立品澤館〕
〔宇都宮市神工場〕
〔宇都宮市列治〕
〔宇都宮市明神〕
〔宇都宮市下野倉庫株式會社〕

貨物、保管、荷爲取組
委托販賣、貨物貸附金

館列陳商店

▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ
土產物御求まは至極御便利であり升
独立の勸工場にて市中無類第一の廉
價正札附に致してあり升
流行品は他店に魁くるは申す迄もな
く花客様にて御承
知の筈てあり升
品が善く
て直が安
く有る品は
ゆる品は
取揃てあ
ります



諸建築木材供給受負
諸木材戸障子廉價販賣
諸建築工事請負業
業務擴張ノ爲メ從來ノ建具類賣場狹隘ヲ感シ肴町通ニ移轉仕候條
陸續御用命奉願候

和紙卸商上洋紙屋紙店
宇都宮市千手町
相場直三郎
〔宇都宮市日野町〕
篠崎安平
〔宇都宮市今路町四番地〕
〔電話〕一三八番
〔電話〕四〇八番
海陸產肥料各種
入山石炭各驛一手販賣
好間石炭各驛一手販賣
無煙炭各種大販賣
针屋
村上濱吉
〔宇都宮市石町〕
〔電話〕三三番
〔宇都宮市今路町四番地〕
〔電話〕百十一番
〔木村作次郎〕
〔木村支店〕
〔宇都宮市馬場町〕
〔電話〕七七番

諸木材戸障子廉價販賣
諸建築工事請負業
諸建築木材給供請負
諸木材戸障子廉價販賣
諸建築工事請負業
諸建築木材給供請負
〔博覽會於二會進共覽會評高大日常ノ食料ト進
小品質純良ニシテ物用ニハ便利ニ
杉風味ノ美ナルハ
〔花浪花清吉〕
〔元造製〕
〔町田市塙都宮市宇杉製麵會合名〕
〔電話〕三二一
〔弊社ノ特長ナリ〕



〔番四五四〕
〔電話〕

營業品
理化學器
寫真器械附屬一式
コンデンスミルク特約店

〔宇都宮市馬場町〕
〔木村作次郎〕
〔木村支店〕
〔宇都宮市馬場町〕
〔電話〕百十一番
〔花浪花清吉〕

和洋御料理及天麩羅原料
は元濱方と特約日々新味鮮
のものを選み直輸入風味と
迅速は最も第一の特色
と衛生を重んと御手軽



番六百七 番二百二 電話

牛肉の原料は有名なる神
戸米澤豚肉は海外より
種の者を選み品質精良
格低廉衛生經濟富國強
に缺可る日常食品の親玉

●大阪硫曹株式會社製品特約販賣

●各種取扱へ有之候ニ付御用命奉願上候
見本ハ御一報次第ニ早速御送可申上候

宇都宮市上河原町

内外各種肥料 天

手塚 豊吉

電話二三一
電略(テツカ)又ハ(テ)

別當定期預金年
段座預金步
字都宮市大工町五番地

●諸貨附引爲替荷爲替代金取立確實ヲ旨トシ精々御便利ニ取扱申候
電話三五番 電略(ホウ)

電話二〇七番

金參拾萬商標
本店 宇都宮市宿郷町三番地
支店 東京府北半住中組五八五番地
電話下谷一八八三番

宇野織紙株式會社